



DGは今年、もっと↑もっと↑グローバル！

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
定時株主総会	毎年9月	未払配当金の支払について	株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
基準日	毎年6月30日	公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
中間配当を行う場合の基準日	毎年12月31日	公告掲載サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ir/financial_001.html
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 ※平成24年4月1日より三井住友信託銀行株式会社 に社名が変更となります。	上場取引所	 大阪証券取引所 JASDAQ市場
郵便物送付先 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店 ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店 で行っております。	銘柄コード	4819



■ 株主ならびに投資家の皆様へ

第17期 平成24年6月期 第2四半期 グローバル・インキュベーション戦略の始動 ～ 米国拠点の設立とアジャイル開発ネットワークの構築 ～

デジタルガレージ（DG）の中期経営計画2期目にあたる平成24年6月期第2四半期は、連結売上高6,297百万円（前年同期比26%増収）、経常利益665百万円（前年同期比3.1倍）、四半期純利益610百万円（前年同期比3.8倍）と好調に推移しました。業績が好調に推移した要因は、①広告と決済事業で構成されるハイブリッド・ソリューション事業が前年同期比20%増収と牽引し、②グローバルに展開するソーシャルメディア関連企業の成長を背景に株式売却益を実現できたことによるものです。



代表取締役／グループCEO
林 郁（はやし かおる）

【Incubation2.0宣言】

DGは、今年のスローガンを『DESIGNING GLOBAL CONTEXT DG STYLE』と設定しました。15年以上にわたる「インターネット時代に役に立つコンテキストを創る」という命題に対し、本年はよりグローバルにチャレンジしていこう！というメッセージです。

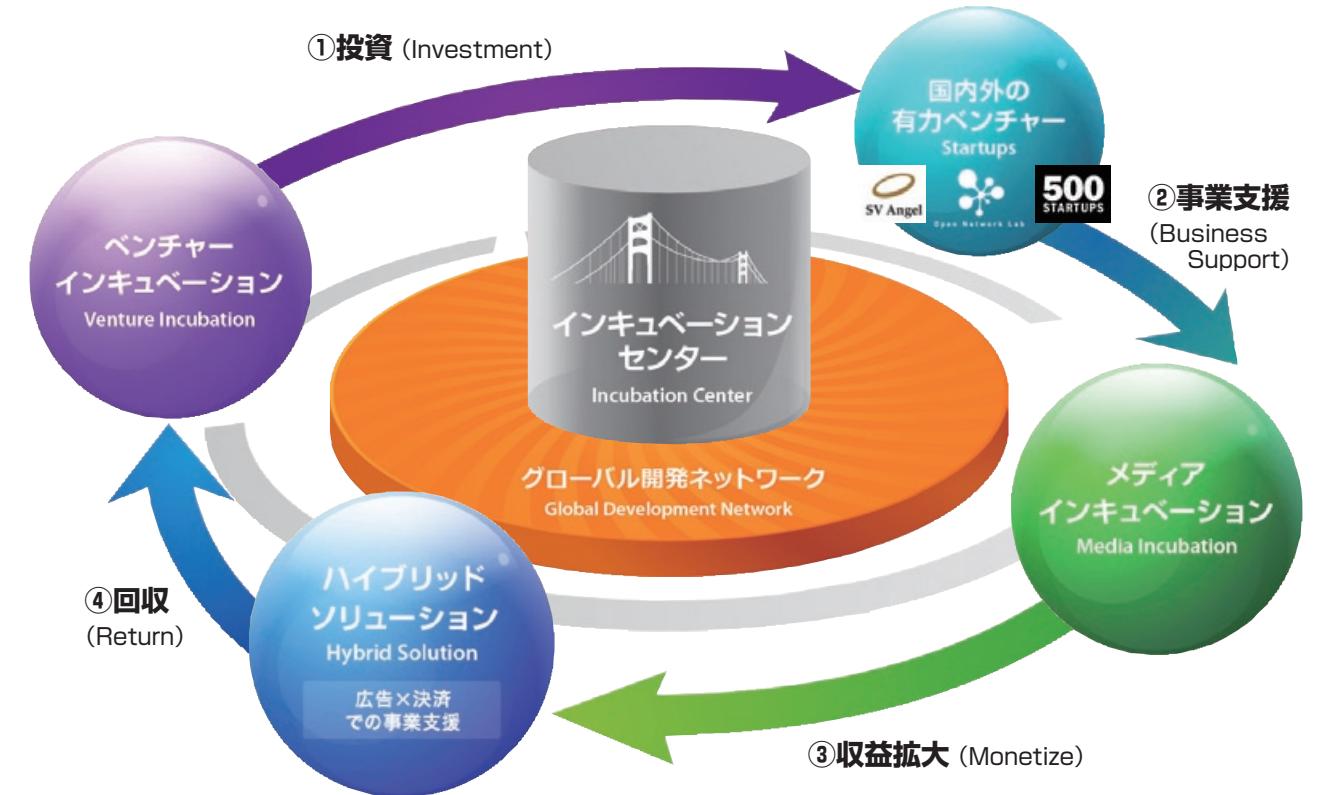
具体的な活動として、米国持株会社Digital Garage US, Inc.（米国カリフォルニア州サンフランシスコ市）の完全子会社としてNew Context, Inc.（同サンフランシスコ市）を設立し、同社による世界的なアジャイル開発会社2社の買収に合意しました。さらに、サンフランシスコ市に有望なスタートアップ企業の短期育成を目的としたインキュベーションセンターを、平成24年秋を目処に開設することを決定しました。

DGがこれまで培ってきたインキュベーション・ノウハウとインターネットサービスを効率よく開発する手法として注目を集める「アジャイル開発」や「Lean Startup」に基づく開発支援を通じて、グローバルなスタートアップ企業を育成することが可能となります。言い換えますと、DGの3つのコアスキルであるIT（Information Technology）、MT（Marketing Technology）、FT（Financial Technology）を駆使し、有望なスタートアップ企業を育成し、投資・技術開発・インキュベーションという三位一体の「インキュベーション・エコシステム」の完成を企図しております。（次ページをご参照下さい。）

DGは、今後も「Social Media Incubator」として、「世の中の役に立つ事業を創造」し、社会に貢献してまいります。株主・投資家の皆様には、DGの今後の活動にご期待いただくとともに、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 継続的に機能するグローバルなインキュベーション・エコシステムの構築

新DG「グローバル・インキュベーション・エコシステム」



■ 2012年6月期 第2四半期 業績ハイライト P/L (連結)

(単位: 百万円)	11.6期2Q累計	12.6期2Q累計		予 想 比	前年同期比
	(実績)	(期初予想)	(実績)		
売上高	4,983	6,000	6,297	+ 297	+ 1,314
営業利益	△ 181	300	302	+ 2	+ 483
経常利益	213	700	665	△ 35	+ 452
四半期純利益	158	550	610	+ 60	+ 452

<2012.6期 第2四半期連結累計期間>

～ 最終損益は、期初予想を上回って着地 ～

- 売上高は前年同期比26.4%の増収、営業利益は同483百万円増益の黒字転換。
- 経常利益は営業外収益にカカコム他持分法投資利益451百万円を計上、外貨評価に伴う為替差損39百万円、新株発行費45百万円を吸収し、前年同期比3.1倍 (452百万円増益) の665百万円。
- 四半期純利益は、連結納税制度導入効果もあり、前年同期比452百万円増の610百万円と期初予想を60百万円上回る。
- 期末配当として、1,000円/株を予定。

■ 2012年6月期 第2四半期 財務ハイライト B/S (連結)

<2012.6期 第2四半期連結会計期間>

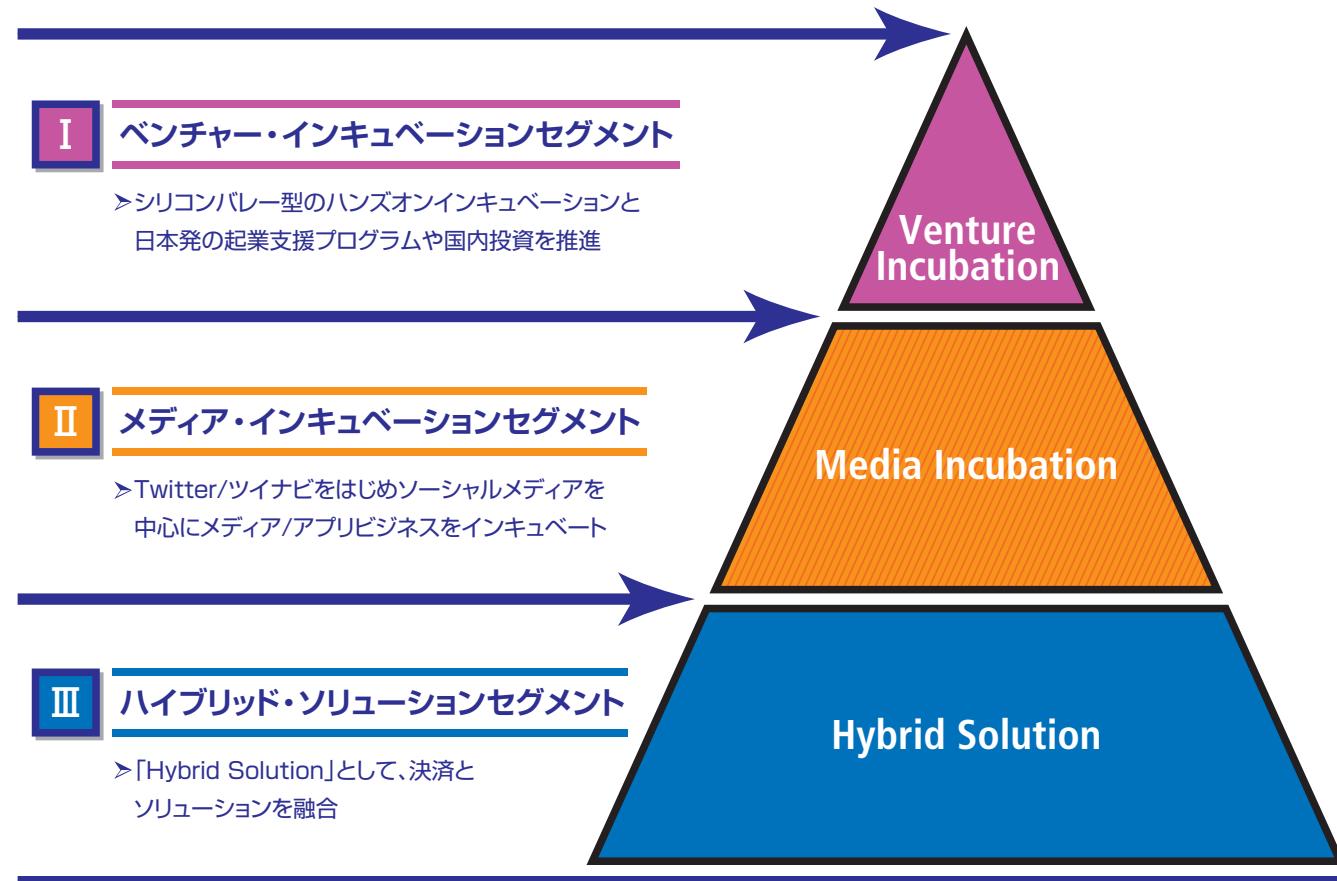
～ 引き続き財務体質の改善が進む ～

(単位: 百万円)	11.6期末	12.6期2Q末	前期末比	
	(実績)	(実績)	(金額)	
流動資産	14,345	23,133	+ 8,788	「未収入金」 コンビニ、カード会社等から未入金の収納代金 (平均入金サイト約2週間)
うち現預金	4,784	10,662	+ 5,878	
うち未収入金	4,351	5,196	+ 845	
うち金銭の信託	2,501	3,689	+ 1,188	「金銭の信託」 収納代金の信託保全を実施
固定資産	6,075	6,585	+ 510	
資産合計	20,421	29,719	+ 9,298	「預り金」 EC事業者に支払をするまで一時的に預かる収納代金
流動負債	9,933	10,515	+ 582	
うち預り金	6,168	8,632	+ 2,464	
うち有利子負債	2,519	725	△ 1,794	短期借入金の返済
固定負債	592	435	△ 157	公募増資 (2011年7月) と2Q累計四半期純利益の計上
うち有利子負債	351	233	△ 118	
純資産	9,895	18,767	+ 8,872	<自己資本比率> 11.6期末 12.6期2Q末 48.1% → 62.8%
負債・純資産合計	20,421	29,719	+ 9,298	

■ 当社の事業について

デジタルガレージは、★Information Technology (インフォメーション テクノロジー) ★Marketing Technology (マーケティング テクノロジー) ★Financial Technology (ファイナンシャル テクノロジー) の3つの機能を駆使し、下図にあるように3つのセグメントで事業を展開しています。

【グループ事業セグメント】



■ <ベンチャー・インキュベーション> 事業について

シリコンバレー中心の海外投資展開及び日本発の優良ベンチャー企業の投資・育成

グローバル開発ネットワーク/サンフランシスコ・インキュベーションセンターと連動
 “インポート、エクスポート”に“グローバル”を加えた全方向による投資・育成モデルの確立

インポートモデル

海外有望ベンチャー企業に対する投資・育成
 日本ローカライズ・海外発の世界展開支援

エクスポートモデル

国内有力ベンチャー企業に対する投資・育成
 日本発の世界展開支援



■ <メディア・インキュベーション> 事業について

グローバル・インキュベーション戦略と連動した新規メディアの創出

グローバル・シードの国内展開及びグローバル開発ネットワークを活用したメディアの育成

■ Twitter公式ナビゲーションサイト 「**ツイナビ**」をリニューアル

ソーシャルアプリ事業の始動に合わせ機能を変更。ガイドサイトからソーシャルウェブへ進化しています。



■ Twitter運用支援/効果測定ツール 「**Tweet manager**」が順調

東京電力等のライフライン企業を中心に導入が拡大。さらに、長期契約の増加により収益が安定化してきました。

■ ソーシャルアプリプラットフォーム 「**ツイナビアプリ**」をリリース

Twitterに連動したソーシャルアプリ/リアルタイムアプリによる個人課金領域へのビジネスを拡張していきます。

■ ポイントプログラム連動アフィリエイト構築/運営事業 「**ポイントモール**」が好調

カード会社等の顧客情報保有企業と提携し、9,000万人超の会員数を抱えるモールメディアネットワークの構築を実現しています。



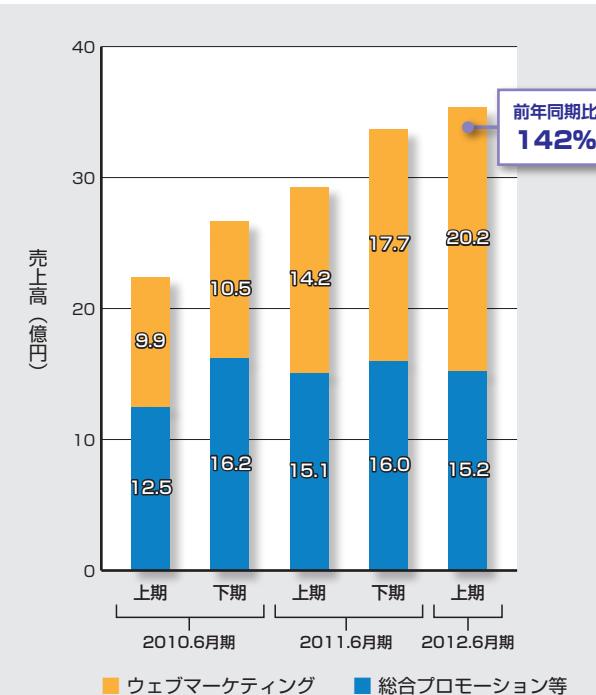
■ <ハイブリッド・ソリューション> 事業について

広告プロモーション × 決済プラットフォーム

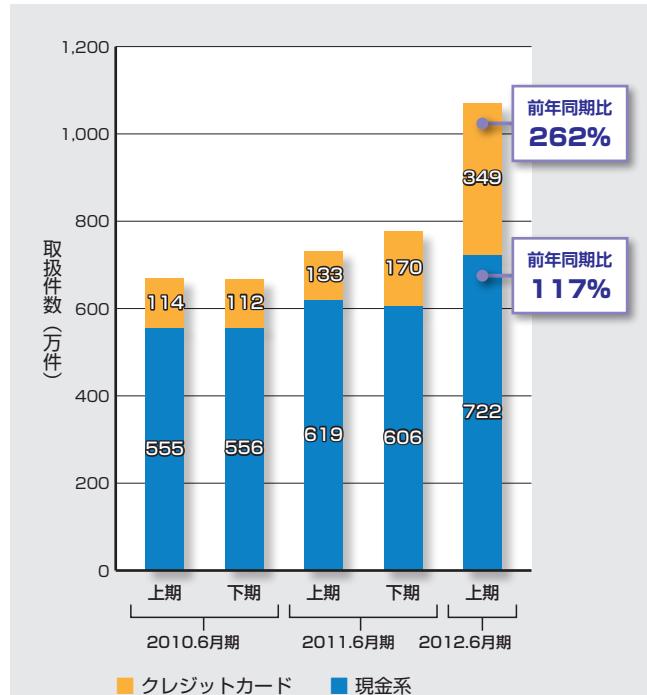
広告プロモーション事業ではインターネット広告分野が大きく牽引、決済事業においては、ゲーム・旅行関連業界の決済が好調に推移

<広告・決済の領域は、過去最高の実績を記録>

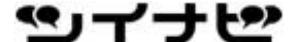
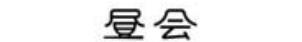
【 DG&lbex 売上高の推移】



【 e-context 取扱件数の推移】



■ 主なグループサイト

  http://www.garage.co.jp/	  http://www.cgmm.co.jp/	  http://twynavi.jp/
  http://www.garage.co.jp/econtext/	  http://www.cgmm.co.jp/tweetmanager	  http://birdfish.jp/
  http://www.garage.co.jp/dgibex/	  http://www.dgincubation.co.jp/	  http://www.nexdg.co.jp/
	  http://onlab.jp/	  http://www.hirukai.jp/

デジタルガレージ iPhoneアプリ



<http://apppark.tappit.net/>



<http://share.tt/>



<http://hootsuite.com/jp/pro>

■ 会社情報 (平成23年12月31日現在)

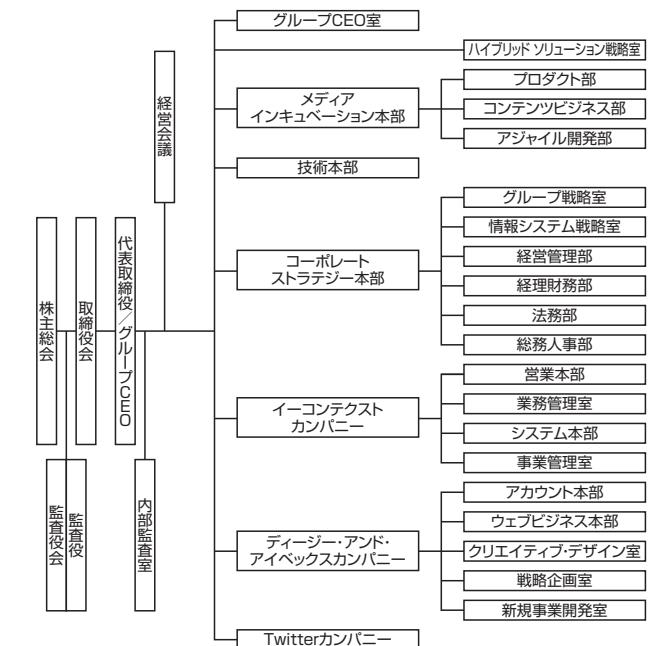
● 会社概要

商号 株式会社デジタルガレージ
 設立 平成7年(1995年)8月17日
 従業員(単体) 247名
 (連結) 264名

● 役員

代表取締役／ グループCEO	林 郁	取締役	藤原 謙次
取締役COO	六彌太 恭行	取締役	岡本 晋
取締役	岩井 直彦	常勤監査役	牛久 等
取締役	曾田 誠	監査役	大野 実
取締役	安田 幹広	監査役	安田 幸一
取締役	踊 契三	監査役	坂井 眞
取締役	伊藤 穰一		

● 組織図



■ 株式情報 (平成23年12月31日現在)

● 株式の状況

発行可能株式総数・・・600,000株
 発行済株式総数・・・219,084株
 議決権総数・・・217,800個
 株主数・・・15,069名

● 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	33,723	15.48
T I S (株)	9,898	4.54
バンクオブニューヨーク・ヨーロッパ	131,705	9.022
ジェビーモルガン・チャース・オップハイマーズ・ジャスト・レンディング・アカウト	8,000	3.67
大阪証券金融(株)	7,571	3.48
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー	505,104	6.623
ノーザン・トラスト・カンパニー・エイブイ・アール・フィデリティ・ファンズ	4,656	2.14
(株) ジャスト・プランニング	3,276	1.50
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,855	1.31
カセイス・バンク・ドイッチャンド・カスタマー・アカウント	2,278	1.05

※持株比率は自己株式(1,284株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況

